

R. I. 第2620地区 静岡第1グループ 三島西ロータリークラブ

週報

第2204号

事 務 所 静岡県三島市中央町4番9号 2F TEL〈055〉976-6351 FAX976-6352 例 会 場 静岡県三島市本町6-35 呉竹 TEL〈055〉975-3210

会 長 原 久一 幹 事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2274回例会

2020.3.5晴

司会

松本邦夫君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソンク゛

「奉仕の理想」 指揮 前田房江君

会長挨拶

会長 原 久一君

皆さんこんにちは、3月になり新型コロナウイルスは、世界、国内でも未だ猛威を振るっております。新しい感染ルート、クラスター感染等で拡大しております。イベント、行事等への参加、不要不急の外出は避け自己防衛に努めてください。

さて4月19日は、公益財団法人米山梅吉記念館春季例祭が 予定されています。米山記念奨学金事業は、1951年(昭和 26年)にサンフランシスコ平和条約によって敗戦後の日本は、 正式に国際社会に復帰しました。その翌年、東京ロータリー クラブの古澤丈作会長は、「米山基金」を提唱。これが米山 記念奨学金事業の始まりです。「今後、日本の生きる道は、平 和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうに は、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人 と出会い、信頼関係を築くこと。これこそが、日本のロータリー にもっともふさわしい国際奉仕事業ではないか。」と、当時の ロータリアンたちの強い思いがありました。

米山記念奨学事業は、全国のロータリアンからの寄付金を財源に、日本で学ぶ私費留学生を支援しています。この半世紀の間に奨学生の数は、年間59人から約850人に増え累計で2万人を超えました。年間の事業費は、およそ14億円です。奨学生一人一人に地域の世話クラブが選ばれ、クラブのメンバーの一人がカウンセラーになって交流を深め支援しています。そして学部生には10万円、大学院生は14万円を毎月、世話クラブから手渡しています。

「出会いを大切にし、奉仕の心をもって」を実践している日本のロータリアンの物心両面での支援こそ、米山の精神を引き継ぐものです。「平和、日本を世界へ」「民間外交として世界に平和の種子を蒔く。」日本中のロータリアンと学友(元奨学

生)たちが、長年にわたって尊い思いをつないでいます。奨学生たちは、留学後、母国に帰り様々な分野で活躍しています。駐日韓国大使、国立故宮博物院(台湾)で初めての女性委員長或いは、日本企業のための弁護士になり、日本と中国の間の和解のために奮闘する中国人の学友もいます。日本全国のロータリアンたちにとって学友たちこそが大事な財産です。米山学友(元奨学生と現役の奨学生)は、現在、日本に33団体、海外に9団体(台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー)があります。1983年(昭和58年)設立の台湾米山学友は、最大の海外学友会で、「飲水思源」(水を飲むときにその水源を思う=受けた恩を忘れてはいけない。)を合言葉に活動。

2009年からは、台湾で学ぶ日本人留学生に対する支援をしています。

幹事報告

幹事 藤江康儀君

1.3月行事予定

①5日 卓話 秋元 稔君

②12日 臨時休会(新型コロナウイルスの関係で自粛)

③26日ガバナー補佐訪問 伊東RC 山本諒君 2.4月行事予定(原則として)

①2日 卓話 鈴木正二君

②9日 夜間例会 親睦例会

③23日 地区協議会報告 千葉慎二副会長

3.報告·協議事項

①以下新型コロナウイルス等の状況により判断

②3/26ガバナ-補佐訪問 伊東RC 山本諒君

③4/9 親睦例会

④4/12(日)地区研修・協議会(キラメッセ静岡)担当役員要請

⑤4/19((日)米山記念館春季例祭(検討中)

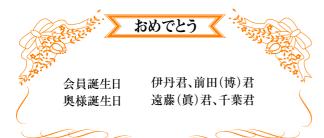
⑥SDGSバッチさわじ作業所よりクラブとして慈善購入(社会奉仕会計より)

⑦当クラブのメイキャップは通常通り当面前後2週間とする

⑧宇田川 茂氏の後任桐部氏

2019~2020年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーは、世界をつなぐ



ママイルボックス

- ◆前田(博)君、母の通夜、告別式等、皆様のお心遣いに感謝です。ありがとうございました。
- ◆Eテーブル、先月27日、Eテーブル会を開催しました。残金を スマイルします。
- ◆和田君、テーブル会をありがとうございます。楽しいひと時 を盛り上げるウイスキーお湯割りの新しい飲み方を教えて いただきありがとうございます。
- ◆栗原君、理事会の皆様ありがとうございます。3月12日の私 の卓話がお陰様で延期になりました。
- ◆野田君、今日は男の料理教室の日で欠席の予定でしたが コロナのせいで中止になり例会に出席できることになりました。ものは考えようです。スマイルといきましょう。
- ◆伊丹君、新型コロナウイルスでキャンセルが続出して大変 大変困っています。早く終局してもらえるよう神頼みしています。
- ◆森崎君、コロナショック、早く鎮まって欲しいものです。

出席報告

		出席総数	出	席	率	会員総数
今	П	38/47	80.85%		%	49名

欠席者 板倉君、木村君、窪田君、澤田君、鈴木(正)君、 花房君、古屋君、室伏君、矢野君

卓 話

「自己紹介」

秋元 稔君

高校卒業後最初に就職したのが、当時三島駅北にあった「三共製薬三島工場」でした。しかし、工場勤めに馴染めず2年で退職しました。我家が小さな農家の為、生計をたてる為に就職したのが造園業でした。親方の下で修業をして、28歳の時に独立しました。当時は、庭に関心がある施主が多く年間20~30件の造園工事をしていましたが、この30年~40年の間に庭に対する考え方や住む方のライフスタイルが変わってきた為、最近は年に数件ある程度にとどまっております。そんな稼業も現在は、長男が後継者となり会社を経営しております。

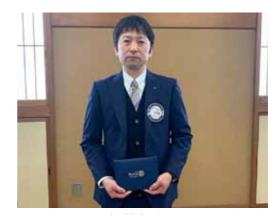
造園業に携わって45年になりますが、私の下で修業をし独立した職人が、7名います。それぞれの地区で開業し活躍をしてくれていることが大変うれしく思います。

また、最近では小学生の孫が「将来、植木屋さんになる」と言ってくれるようになり先が楽しみです。

元気な毎日を過ごして少しでも家族の為になればと毎日祈っています。



ベネファクター



加藤憲勝君